ついて小中学校教員による効果検証を実施

小中連携教育研究協力校の研究の進め方について

1 小中連携教育研究協力校のねらい

武蔵野市立小・中学校において、「武蔵野市小中連携教育推進委員会報告書 - 小中連携教育から小中一貫教育へ - 」(平 成28年2月)の小中一貫教育実施に向けて想定される教育指導等に係る検討課題の効果検証を行うとともに、小中連 携教育の一層の充実を図る実践研究を実施することをねらいとする。

田小・第四中】

2 研究内容		
テーマ【協力校】	研究のねらい	研究の方法(例)
I 指導体制等の工夫による学力・体力の向上を目的とした実践研究		
(1) 小学校第 5・6学年における一部教科担任制の年間を通した実施【第四小】	教員一人一人の教科の専門性を生かして、主体 的・対話的で深い学びを実現し、児童の教科に関 する思考力や問題解決能力等の育成を図る。	・小学校第5・6学年で担当教科を設定し、教科担任による指導を年間を通して実施・研究のねらいの達成を目的とした研究授業を通して児童の学習への取組姿勢や学力等の変容について校内教員による効果検証を実施
(2) 小中学校教 員の相互乗り入れ 授業の計画的な実 施【桜野小・第二 中】	教科の系統性を踏まえた発展的な学習や学び 直し等、小中学校9年間の学びの連続性を重視し た個に応じた指導を実施し、児童・生徒の学習意 欲を高め、もてる力を最大限に伸ばす。	・小中学校教員合同で児童生徒理解のための情報交換、相互乗り入れ授業の取組内容等について協議 ・研究のねらいの達成を目的とした研究授業を通して児童生徒の学習への取組姿勢や学力等の変容について小中学校教員による効果検証を実施
(3) 小中学校の 学級・教科担任及 び学習指導員によ るTTの年間を通 した実施【第二 小・第六中】	時間割の制約等により教員による乗り入れ授業の実施が難しい教科について、教科の系統性を踏まえた発展的な学習や学び直し等、中学校9年間の学びの連続性を重視した個に応じたTT指導を実施し、児童・生徒の学習意欲を高め、もてる力を最大限に伸ばす。	・小中学校教員合同で児童生徒理解のための情報交換、TT授業の取組内容等について協議・研究のねらいの達成を目的とした研究授業を通して児童生徒の学習への取組姿勢や学力等の変容について小中学校教員による効果検証を実施
II 特設教科 武 蔵野市民科(仮称) の実践研究 【境南小・第五中】	小中学校が連携して自己を高め、他者と協力 し行動する資質や能力、態度を身に付けるとと もに地域の一員として、よりよい地域づくりに 参画する資質や能力、態度を培うよう、「自立」 「協同」「社会参画」の3つの視点で、小学校 第5学年から中学校第1学年の総合的な学習の 時間、道徳、特別活動等を有機的に結び付けた 効果的な学習活動の研究を行う。	 ○武蔵野市民科(仮称)カリキュラム作成委員会と連携して実施 ・子どもたちが地域社会で生活していくことについての見方や考え方を身に付けさせるための総合的な学習の時間・道徳・特別活動等の関連した学習活動「ユニット」の設定 ・発達段階に応じて「自立」「協同」「社会参画」の3つの視点に指導の重点を置いた年間指導計画の作成 ○各学校で実施・研究のねらいの達成を目的とした研究授業を通して児童生徒の学習への取組姿勢や学力等の変容について小中学校教員による効果検証を実施
Ⅲ 学校行事及び 開かれた学校づく り協議会の合同実 施を通した研究 【井之頭小・第一 中】	学校行事の合同実施や異学年交流をとおして、 自己有用感、あこがれの気持ち、思いやりの心を 育み、将来に向けた目標をもたせる。 小・中学校合同で学校づくり協議会を実施する ことにより、小・中学校の課題を共有し、義務教 育9年間を見通した学校支援や児童・生徒を見守 る体制を構築する。	・合同実施する学校行事や異学年交流の内容、日程等についての協議(小中学校の開かれた学校づくり協議会委員にも参観いただき、9年間を見通した学校行事の在り方について意見を伺う。) ・小中学校の教育課程の共通理解、児童・生徒や家庭・地域社会が抱える小・中学校共通の課題等を解決するための方策について協議
IV 小・中学校特別支援学級における交流学習等の合同実践研究【大野	互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていくことの大切さを学ぶ合同交流学習をとおして、自己有用感、あこがれの気持ち、思いやりの心を育み、将来に向けた目標をもたせる。	・小中学校教員合同で児童生徒理解のための情報交換を実施し、交流学習の内容等について協議 ・研究のねらいの達成を目的とした研究授業を通して児童生徒の学習への取組姿勢や学力等の変容に

の心を育み、将来に向けた目標をもたせる。